



— 主題 —

- 西宮クラブ会長 「一期一会 小さなことをコツコツと」 廣瀬一雄
- EMC事業主査 「まず足元を見つめなおすことから始めよう！」 濱 浩一
- 六甲部部长 「寄り添い、分かち合い～三方よして、みんな笑顔」 大野智恵
- 西日本区理事 「未来への挑戦」
- 「羽ばたこう！2022年ワイズ100周年に向かって！」 新山兼司
- アジア会長 「100年を超えて変革しよう」
- スローガン「健康第一」 大野 勉
- 国際会長 「世界とともにワイズメン」
- スローガン「愛と尊厳で世界をいやそう」 Kim Sang-Chae

2022年
2月

886号
(75期8号)



2月 西日本区強調活動

TOF 飢餓に苦しむ人々の為に、例会の食事を抜きその分の金額を支援しましょう。
河原正浩 地域奉仕・環境事業主任（京都トップス）

西宮ワイズメンズクラブ 2022年2月第一例会

- 日時：2月18日(金) 19:00~20:30
場所：西宮 YMCA3階会議室
ZOOMによるハイブリッド形式
ドライバー：藤原百合子メン、濱崎進一メン
- 1 開会挨拶・開会点鐘 廣瀬一雄会長
 - 2 ワイズソング 一同
 - 3 開会祈祷 山口政紀メン
 - 4 スピーチ 馬場貴英メン
「半導体製造のトピックス」
 - 5 お誕生日のお祝い 廣瀬一雄会長
 - 6 ワイズニュース 廣瀬一雄会長
 - 7 YMCA ニュース 藤田担当主事
 - 8 閉会挨拶・閉会点鐘 廣瀬一雄会長

※TOF 月のため食事はありません

HAPPY BIRTHDAY / FEBRUARY

- 3日 小野メン 12日 阪根紀子メネット
- 21日 山本メン 23日 西山安子メネット

今月の聖句

ダビデの子、エルサレムの王、コヘレトの言葉。
コヘレトは言う。空の空 空の空、一切は空である。
智恵が深まれば、悩みも深まり 知識が増せば、
痛みも増す。 「人生の意味の探求」
聖書協会共同訳 コレヘトの言葉1章 1-2節・18節
山口政紀メン選

1月出席状況 (在籍会員数 22名)		
第一例会 (14金)	第二例会 (28金)	
メン 16名	メン	14名
メネット 1名	メネット	0名
ゲスト 2名	合計	14名
MU 0名		
合計 16名	出席率	72.7%

ファンド	1月	累計
ニコニコファンド	¥16,010	¥32,010
BF@300	¥ 4,500	¥16,500
震災支援@200	¥ 3,000	¥11,000

主役員

- 【会長】 廣瀬一雄 【直前会長】 万本 敬一 【副会長(次)】 濱 浩一 【副会長】 石井 恭子
- 【書記】 小野 勅紘, 山口 吉郎 【会計】 重村 仁, 濱崎 進一 【監事】 阪根 新, 山口 政紀
- 【EMC主査】 濱 浩一 【LD委員】 馬場 貴英 【組織検討安全対策委員】 山口 吉郎 【担当主事】 藤田 良祐

会長メッセージ

会長 廣瀬一雄



1月の第一例会では第17回 One Christmas で構成/指揮をしておられる宝塚クラブの若林成幸メンをゲストスピーカーとしてお迎えしました。ドライバーからの例会報告が詳しくされていますが、ワイズの熱意には敬服いたします。

第二例会も28日にハイブリッドで実施。蔓延防止が始まったところでしたが西宮Yに多数足を運んでくれました。1月のドライバーさんのコーヒーサービスのおかげです。

西日本区事務所から届いた請求書を会計さんに渡しましたが、昨年度は西日本区は半期の支払いを免除。西宮クラブも後期の会費の集金は取り止めました。今期は後期クラブ会費を集金していただきますのでご協力よろしく申し上げます。私ごとであります。奈良クラブの周年記念例会が中止になり、前納していた会費が返金されたこともあり後期の入金ができました。

3月の第一例会の概要も決まりましたが2月は馬場貴英メンのメンバースピーチ。今回もハイブリッドでの実施ですが蔓延防止の期間中ですし、TOFの月。食事がありませんのでズームが可能であれば在宅参加もオススメ。

(写真は中央本線上諏訪駅ホームにて2021年10月)



1月第一例会報告

阪根 新

新年明けて1月14日金曜日、1月の第1例会が2年ぶりに開催された。

オミクロン株が急激に感染拡大する中、Zoomによる配信も実施、ゲストを含め19名の参加。開会点鐘、小野メンによるお祈りの後、『棒を振り続けて17年』と題し、宝塚クラブの若林成幸メンによる、宝塚ワイズが取り組んでこられた宝塚のチャリティー市民クリスマス「みんなでつくる One Christmas」についてのスピーチ。



17年前に引き継がれたこのコンサートは、「クリスマスの真の意味を知ってもらい、素晴らしいクリスマスソングに親しんでいただきたい」と願い、タイヤメーカー退職後の若林メンと宝塚クラブが中心となり、幼稚園児から大学生、社会人迄多くの方がボランティアで続けてこられた愛と感謝と報恩の事業といえる。確かに、お寺の経営の幼稚園ではどう説明しているのだろうか、若い人は、なぜイブにホテルの営業に協力するのか、ふとそんな事が頭をよぎった。

3月に会場の抽選、確保から始まり、企画を練り、ボランティアを募り、合唱団を構成、練習、チラシの配布。昨年と今年はコロナの感染対策も。苦労の連続。そして最も大変なのが、運営費用の募金であるという。

しかし、また、喜びも大きい。出演者110人、観客290人、裏方・スタッフ30人、約430人もの人が味わう達成感と満足感、成長した子供達の輝いた顔をみる喜び、アソシエイト会員との繋がり等地域交流、はんしん自立の家とのコラボレ

ーション等の社会貢献、Y'sの絆の広がり、YMCAへの献金等その得るものも大きく、その尽きない喜びが奉仕の継続の力となっている。

一方で、将来存続の意義、協力者・支援者の拡大、広域ネット配信、さらには年々増加傾向にある経費の確保等々、そして何よりも若林メン始めスタッフ高齢化の不安。検討事項が山積みとの事。若林メンの話は、神戸YMCAのブランド、ユースとの接点・サポート、SDGs等尽きなかったが、今後Y'sが考えていかなければならない多くの問題を提起された形で終了。

願わくは、素晴らしいクリスマス行事を是非継続していただきたい。いろいろな面で、形で協力を惜しむものではないが、神戸YMCAが積極的に協力し、六甲の各クラブが応援するというのが望ましい姿ではないのだろうか考えるのは私一人であろうか。

引続き、お誕生日のお祝い、馬場メンから賀川記念館の援助会員募集、藤田主事から会館外壁工事の完成、保育園での厳しいコロナとの闘いの現状報告があり、参加者一同、一日も早い収束を祈った。最後に広瀬会長の挨拶、閉会点鐘。有意義な会が無事終了。

若林、多胡メン本当に有難うございました。配信、会場の設営の藤田メン、司会の重村ドライバ

ー、そして参加いただいたメンバーの皆様、有難うございました。感謝。（記録、文章責任阪根）



寅年にちなんで… トラツグミの話

藤原俊夫

野鳥愛好者が親しみを込めて「トラチャン」と呼ぶ野鳥がいます。それは「トラツグミ」。渡り鳥ではないのですが、冬寒くなると里に下りてくるので目に付く機会が多くなるツグミの仲間です。冬が来るとあちこちの探鳥地で「トラチャン見ました?」「あっちの芝生にきていますよ」というような会話がよくかわされています。

名前の由来はその模様にあります。黄色の地に黒の模様が全体についていて、それを虎の皮の模様にたとえてトラツグミと名付けられたようです。

この鳥が人気なのはその模様以外にもう一つの特徴にあります。それは「トラダンス」と呼ばれる変わった動きです。主にミミズを食べるのですが、ミミズをおびき出す時にお尻が横に揺れ、その仕草がダンスのようで可愛いと名付けられたようです。



ところで、この鳥の古来からの呼び方をご存じでしょうか? 「又工」、漢字では「鵯」と書きます。そう、平家物語にある源三位頼政が弓で射落としたというあの妖怪と同じ「鵯」なのです。物語には「頭は猿、むくろは狸、尾は蛇、手足は虎の姿なり。なく声、鵯にぞ似たりける」と書いてあり、妖怪の名前はありませんでした。しかしその後、いつのまにかこの妖怪の名前は鵯だと言うことになってしまったようです。いずれにせよ当時の人々の間ではトラツグミの寂しげな鳴き声は不吉なものと考えられ、気味悪がられていたようです。

冬期限定にはなりますが、甲山森林公園や有馬富士公園に行けば出会える機会があると思います。

なお、妖怪の方に興味のある方は芦屋や京都、大阪にある「鵯塚」、西脇にある「頼政による鵯退治の像」などを見に行くのも面白そうですよ。

初志貫徹 コロナ禍この時こそ頑張ろう! 劇団・芝居工房来るくる座

大黒屋仁兵衛 こと 重村仁

コロナ禍が2年経ち、世界・国内とも新型オミクロンが急拡大し、勢いが止まません。大都市では、何百何千人という感染者が出ており大変です。今回は小・中・保育園でも学級閉鎖、休園となり、子供への波及も深刻である。

そんな中、私の参加しているシニア劇団「芝居工房来るくる座」も第〇波が出ると、稽古が出来なくなり、こんな時に「芝居の稽古?」と問われても、阪神大震災の時立ち上げた素人劇団、あれから27年いまだに解散せず稽古を続けています。劇団員の平均年齢も77歳を超え、この2年で1人亡くなり、2人は退団、現在10名となる。



正月明け5日、神戸新聞の声の欄・発言「特集 新しい年を迎えて」で、団員いてざ遊さん(80歳)の投稿が掲載されました。ここにご紹介致します。

『平均年齢77歳の劇団で奮闘』 いてざ遊
高齢になると空き時間がもったいない気がして私は下手の横好きで劇団に入りました。名づけて「来るくる座」。団員10人。阪神・淡路大震災の年、皆が心身憔悴していたさなかに、再生、復興

YMCA ニュース

担当主事 藤田良祐

兵庫県も再び、まん延等防止適用措置の対象地域となりました。YMCA が運営する育成センターでも毎日のように子どもたちや保護者、指導員にコロナの陽性者が発生しており、対応に追われる日々が続いています。これまでのコロナ対応と決定的に違うのは、子どもたちの中にも感染者が増加しているということです。小学校でも学級閉鎖や学年閉鎖が行われており、日に日に子どもたちの居場所が奪われていっているような気がします。そんな中ですが、香櫨園小学校で YMCA として新たに子どもたちの放課後の居場所を創り出す事業にチャレンジすることになりました。育成センターの運営に加えて、放課後キッズルーム事業（放課後キッズ）の運営を YMCA が担うことが決まりました。放課後キッズは、放課後の学校施設（図書室、ランチルーム等）を子どもたちの遊びや学びの場として開放する事業で、YMCA の講師・スタッフが子どもたちの見守りを行います。学童保育の場ではありませんので、保護者の就労の有無に関係なく全ての児童が自由に参加できることが特徴です。（利用登録の必要はあります。）2022 年度から香櫨園小学校では、子育てひろば、育成センター、放課後キッズの運営を YMCA が担うこととなります。小学校とも協働を深めつつ、子どもたちの育ちをトータルに支え、地域の子育て支援に貢献していきたいと思えます。



を願い離散した人たちが神戸の地へ帰ってくる、戻ってくるの希望と期待を念じながら立ち上げた素人劇団です。震災から 27 年。平均年齢 77 歳。コロナ禍で、練習も中断しつつずっと続いています。脚本も座長自ら書き下ろし、オリジナルで現代社会を風刺したネタをしゃべりやすく動きやすく工夫がみられ、大きな声を出し、体を動かします。本公演も間近にひかえ、主役を演じていると錯覚しながら、せりふ忘れやとちりのないよう、やる気がなえないようロマンを追っています。

団員もこの投稿文に刺激されて、初稽古から新たにスタートしました。ただ中旬以降、感染者が急上昇拡大し、団員が揃わない時もあるので、練習に工夫をしようということになりました。過去に「よさこいソーラン節」でいろいろ出かけて披露しましたので、今回は体を動かすことが一番ということで「歌舞伎調盆踊り」をやることになりました。「暫く 暫く…」と見栄を斬り練習は苦戦中です。

劇団員楽しく、元気に、次は平均 80 歳目指して行きます。座長に一人芝居の台本もお願いしますと「10 年先。団員一人になっても芝居できますように」大笑いです。「福は内、鬼は外、コロナ消え失せろー」。レッツゴー！来るくる座・初志貫徹。



1. YMCA ピンクシャツデー

新型コロナウイルスへの恐れは心ない差別や偏見を生み出し、子どもたちの中に「いじめ」となって影響する可能性があります。このような時だからこそ、「いじめ」に目を向け一人ひとりが傍観者にならず、他者のために考え行動することができるよう、YMCAはピンクシャツデーへの取り組みを行っています。日本YMCA同盟のHPには子どもたちが「いじめ」について考える「子どもか いぎ」の動画が公開されています。お時間のある時にご覧いただければ幸いです。今年のピンクシャツデーは2月23日（水）です。

<https://www.ymcajapan.org/campaign/pinkshirtday/>



2. 第13回神戸YMCA・コミュニケーション学院 日本語スピーチコンテスト

コロナの影響により未だ日本への入国が出来ない学生がいることを鑑み、今年もZoomによるオンラインで日本語スピーチコンテストを開催します。日本語を学ぶ学生が日頃の学習の成果を発表するだけでなく、このコロナ禍にあって何を思い、考えているのかに耳を傾ける機会になればと思います。西宮ワイズメンズクラブの皆様にはコンテストの趣旨にご賛同いただき、今年もご支援をいただきましたこと感謝申し上げます。

日時：2022年3月4日（金）9:00～12:30

形式：Zoomによるオンライン開催（当日の様子をZoomでご覧いただける方は、藤田までお知らせください。）

ワイズニュース

【今後の予定】

- 2月 7日（月）デジタル小委員会 石井メン
- 2月 18日（金）第一例会 19:00～20:30
ドライバー：濱崎メン、藤原メン
- 2月 23日（水・祝）ピンクシャツデー
記念植樹
- 2月 25日（金）第二例会 15:00～
- 3月 11日（金）第一例会 19:00～
ドライバー：山口政紀メン、宮地特別メネット
- 3月 19日（土）六甲部第二回評議会
- 3月 25日（金）第二例会

1月第二例会 抜粋記録

- ・EMC：クリスマス例会のゲストに紹介者各自からブリテンを送付しPRする。
- ・西日本区大会：6/11(土)単日開催に変更
- ・日本語スピーチコンテスト支援金 5,000円
- ・国際会長投票 会長一任 投票完了
- ・後期会費/ファンド送金：予算通り振込（会計）

編集後記

ブリテン委員 山口吉郎

神戸市で信号機のない横断歩道のカラー化実施のニュース。効果があればいいですが、驚いたのは神戸市内では約54%の車が一時停止しないという調査結果。私は毎日犬の散歩コースでバス道の横断歩道を渡りますが、まず100%の車が停止しません。神戸の数字が羨ましい。唯一伊丹市バスはきちんと停止してくれます。

蠟梅満開、梅もちらほら、春はもうすぐ！

